

令和7年度 高知大学海洋コア国際研究所

共同利用・共同研究成果発表会

プログラム

3月2日（月）

9:30-9:40 開会挨拶

- 高知大学 海洋コア国際研究所 所長 佐野 有司
- 地球掘削科学国際研究拠点 共同利用・共同研究 課題選定委員会 委員長 山本 正伸

9:40-11:10 (座長: 池原 実)

O-01* 9:40-9:55 「XRF コアスキャナーを用いた白亜紀 OAE 期における古インド洋の海洋環境変動の復元」

壽 隆海大, 長谷川 精, 村山 雅史, An-sheng LEE (高知大学), 安川 和孝 (東京大学),
松本 廣直 (筑波大学), 長谷川 順 (金沢大学)

O-02* 9:55-10:10 「古原生代の島弧火山発達史：ガーナ南西部アシャンティグリーンストーン帯の地質記録」

吉丸 慧, 清川 昌一 (九州大学), 伊藤 孝 (茨城大学), Ibrahim Kwabina (ガーナ大学),
George Tetthe (タクワ鉱山技術大学), Frank Nyame (ガーナ大学)

O-03* 10:10-10:25 「西オーストラリア, ピルバラクラトン, クリバービル層 3.1Ga 縞状鉄鉱層におけるシデライト形成過程」

福山 康太 (九州大学), 高畠 直人, 笹木 晃平 (東京大学), 清川 昌一 (九州大学)

O-04* 10:25-10:40 「香川県東かがわ市引田城山地域に露頭する上部白亜系和泉層群北縁部の基底部における堆積環境」

高沢 和希, 清川 昌一 (九州大学)

O-05* 10:40-10:55 「鹿児島県薩摩硫黄島長浜湾の17年間（2009～2025年）の鉄沈殿物の堆積記録」

清松 慧一, 酒本 直弥, 清川 昌一 (九州大学)

10:55-11:10 討論

11:10-12:10 (ポスター発表)

- P-01 「MR24-06C コアにおいてチュクチ海およびボーフォート海で採取した海底コアの CT および XRF スキヤン分析の予察的結果」
山本 正伸 (北海道大学), 村山 雅史 (高知大学), 堀川 恵司 (富山大学), 岩崎 晋弥 (高知大学), 鈴木 健太 (早稲田大学), 新井 正矩 (北海道大学), 完新世北極古環境研究チーム
- P-02 「ベーリング海堆積物コアの総合解析による古海洋環境変動の研究」
堀川 恵司 (富山大学), 岡崎 裕典 (九州大学), 村山 雅史 (高知大学), ジヨン シンチャン (九州大学), 藤見 唯衣 (富山大学)
- P-03 「日本海溝の IODP 掘削地点 C0019 および C0026 から採取した HPCS コアに対する XRF 走査分析の予察的結果」
萩野 穂 (山形大学), 岩井 雅夫 (高知大学), 本山 功 (山形大学), IODP Exp.405 Science Party
- P-04* 「日本海南西部における表層堆積物の全有機炭素・全窒素濃度からみる古環境変動」
金子 夏樹, 戸丸 仁, 門野 美佳 (千葉大学)
- P-05* 「始新世温室期の陸域環境復元に向けた米国グリーンリバー層の炭素同位体層序の構築」
泉 奏, 長谷川 精, 池原 実 (高知大学), 佐久間 杏樹 (東京大学), 松本 裕貴 (高知大学), 穴井 千里 (九州大学), 隈 隆成 (宮崎大学)
- P-06* 「始新世温室期の陸域環境復元に向けた米国グリーンリバー層の古地磁気層序の構築」
松本 裕貴 (高知大学), 穴井 千里 (九州大学), 長谷川 精, 泉 奏, 池原 実 (高知大学), 佐久間 杏樹 (東京大学), 隈 隆成 (宮崎大学), 山本 裕二 (高知大学)
- P-07* 「岡山県中央部久米南塩基性岩体の全岩化学組成」
前 圭一郎, 能美 洋介, 土屋 裕太 (岡山理科大学)
- P-08* 「卓上 X 線スキャナーと X 線顕微鏡による大葉 (アオジソ) の非破壊内部観察の比較検討」
池田 春樹, 大井 崇生 (高知工科大学)
- P-09 「CT スキャナーによる岩石中の目的鉱物の掘出しに就いて」
石井 輝秋 (静岡大学), 金子 誠 (深田地質研究所), 秋澤 紀克 (広島大学), 平野 直人 (東北大学), 町田 嗣樹 (千葉工業大学)

13:10-14:40 (座長: 浦本 豪一郎)

O-06* 13:10-13:25 「フラム海峡東部における原位置応力がガス湧出活動に与える影響—3次元応力測定による考察」

酒井 雄飛, 林 炳人 (京都大学), 山本 裕二 (高知大学),

Andreia Plaza-Faverola (ノルウェー北極大学)

O-07* 13:25-13:40 「炭酸塩化したマントルウェッジの変形と微細組織: 地殻-マントル境界を模擬した実験的検討」

沖野 峻也, 岡本 敦, 喜多 倍子, 澤 燥道, 武藤 潤 (東北大学)

O-08* 13:40-13:55 「カルサイト鉱物脈の累帯構造から読み解くプレート境界断層を流れた流体の化学組成の変動」

秋柴 愛斗, Otgonbayar Dandar (東北大学), 山口 飛鳥 (東京大学), 西尾 嘉朗 (高知大学), 岡本 敦 (東北大学)

O-09* 13:55-14:10 「根尾谷断層掘削コアにおける断層ガウジのシーリング過程」

前田 剛志, 大谷 具幸 (岐阜大学)

O-10* 14:10-14:25 「岩石の高速破壊過程: 地震から天体衝突までの統一的理解を目指して」

森 優心, 岡崎 啓史 (広島大学), 萩田 河成, 武藤 潤 (東北大学), 多田井 修 (マリン・ワーク・ジャパン)

14:25-14:40 討論

14:50-16:20 (座長: 山本 裕二)

O-11 14:50-15:05 「海底堆積物から探る海域火山の活動履歴の解明」

羽生 肇, Iona McIntosh, 浜田 盛久, 吉田 健太, 佐藤 智紀, 萩原 雄貴, 赤松 祐哉 (海洋研究開発機構)

O-12* 15:05-15:20 「湿地堆積物のクリプトテフラ分析による高解像テフラ編年の確立と地形発達復元」

渡辺 樹 (東京都立大学), 石村 大輔 (千葉大学), 青木 かおり, 鈴木 肇彦 (北海学園大学)

O-13* 15:20-15:35 「湖沼堆積物を用いた水蒸気噴火テフラの研究 ～大沼池・平兵衛池・地獄谷の事例～」

中村 文哉, 瀬戸口 海翔, 石崎 泰男, 石川 尚人 (富山大学)

O-14 15:35-15:50 「阿蘇 4 火碎流堆積物（非溶結）の古地磁気学的分析手法の改良および定置温度」
辻 智大（山口大学），潮田 雅司（四国総合研究所），山本 裕二（高知大学），
北原 優（九州大学）

O-15* 15:50-16:05 「古地磁気測定による玉来川溶岩の分類」
武富 真由，内山 賢太，辻 智大（山口大学），山本 裕二（高知大学）

16:05-16:20 討論

16:30-18:00 (座長：氏家 由利香)

O-16 16:30-16:45 「愛知県犬山地域下部三疊系深海珪質岩より産出したコノドント自然集合体」
武藤 俊（産業技術総合研究所），吉澤 和子（東京大学），村山 雅史（高知大学）

O-17* 16:45-17:00 「二重層球状コンクリーションの形成メカニズム」
プラート アルヴィン ローラン ヤマグチ（東京大学），吉田 英一（名古屋大学），
村宮 悠介（深田地質研究所），狩野 彰宏，城戸 太朗（東京大学），勝田 長貴（岐阜大学），
梅村 綾子（名古屋大学）

O-18* 17:00-17:15 「貝化石群集と貝殻酸素同位体比に基づく中期～後期更新統下総層群の古水温季節変動」
吹本 樹，近藤 康生，池原 実（高知大学）

O-19 17:15-17:30 「鉢虫綱のクラゲの平衡石における成長履歴の解明と環境塩分指標の探索」
河村 真理子（京都大学），松崎 琢也（高知大学），伊藤 元雄（海洋研究開発機構）

O-20 17:30-17:45 「有孔虫にみられる複雑なミトコンドリア・ゲノム」
石谷 佳之（海洋研究開発機構），氏家 由利香（高知大学），野牧 秀隆（海洋研究開発機構）

17:45-18:00 討論

19:00-21:00 (意見交換会)

サンピアセリーズ（高知市）

3月3日（火）

9:30-10:40（座長：奥村 知世）

- O-21 09:30-09:45 「最初にアパタイトの硬組織を獲得したコノドント化石の解析」
三島 弘幸（鶴見大学・東京大学），武藤 俊（産業技術総合研究所），千葉 敏江，見明 康雄（鶴見大学），谷本 正浩（きしわだ自然資料館），鈴木道生（東京大学）
- O-22* 09:45-10:00 「カゲロウ幼虫化石から明らかにする軟体部の化石化メカニズム」
板倉 義空，田中 源吾（熊本大学）
- O-23* 10:00-10:15 「桧原湖表層湖底堆積物中の有機物の起源」
唐錦 光，岩原 ほのか，井尻 曜（神戸大学），山本 哲也，谷川 宜（海洋研究開発機構）
- O-24 10:15-10:30 「北太平洋亜寒帯域における鉛同位体比分布：本年度共同研究で得られた最新結果を中心」
則末 和宏，柳澤 輝汰（新潟大学），小畠 元（東京大学），岡村 慶（高知大学），永石 一弥（マリンワークジャパン），石川 剛志（海洋研究開発機構）

10:30-10:40 討論

10:50-12:00（座長：岩井 雅夫）

- O-25 10:50-11:05 「ICDP DSeis 計画 M5.5 余震発生帯掘削コアの分析（Phase 2）」
小笠原 宏（立命館大学），矢部 康男（東北大学），ICDP DSeis and PROTEA team
- O-26 11:05-11:20 「海山沈み込みによる浅部変形と流体移動」
木下 正高（東京大学），土岐 知弘（琉球大学），橋本 善孝（高知大学），浜田 洋平（海洋研究開発機構），KS-21-18 および KS-25-3 航海研究者
- O-27 11:20-11:35 「掘削コアの応力測定から解き明かす東北地方太平洋沖地震発生後の応力経年変化」
神谷 奈々，日置 遼（京都大学），山本 裕二（高知大学），林 為人（京都大学）
- O-28 11:35-11:50 「喜界島周辺における有史時代の地震性タービダイト形成条件」
中西 謙（産業技術総合研究所），常岡 廉，根本 夏林，横山 祐典（東京大学），浦本 豪一郎，金子 幸司朗，永澤 紗子（高知大学），菊池 凌太，成瀬 元（京都大学）

11:50-12:00 討論

13:00-14:10 (座長: 加藤 悠爾)

O-29 13:00-13:15 「ITRAX データの時系列変動の評価と元素濃度の簡易見積もり」

関 有沙 (深田地質研究所), 多田 隆治 (千葉工業大学), 村山 雅史, 松崎 琢也,
矢生 晋介 (高知大学)

O-30 13:15-13:30 「考古地磁気永年変化に基づく宍道湖の湖底堆積物の年代推定」

林田 明 (同志社大学), 瀬戸 浩二, 香月 輿太, 斎藤 文紀 (島根大学)

O-31 13:30-13:45 「南西インド洋海嶺アトランティスバンクから探る海洋リソスフェアの磁気構造」

藤井 昌和 (国立極地研究所・総合研究大学院大学)

O-32 13:45-14:00 「ケルゲレン海台ODP掘削コア試料に記録された白亜紀スーパークロンの古地磁気強度 (速報)」

吉村 由多加 (九州大学), 藤井 昌和 (国立極地研究所・総合研究大学院大学),
加藤 千恵 (九州大学), 石塚 治 (産業技術総合研究所・海洋研究開発機構),
清水 健二 (海洋研究開発機構), 大柳 良介 (国士館大学・海洋研究開発機構)

14:00-14:10 討論

14:20-15:30 (座長: 佐藤 哲郎)

O-33 14:20-14:35 「鹿児島県甑島に分布する後期白亜紀～古第三紀堆積岩を用いた古地磁気層序の確立」

山下 大輔 (薩摩川内市甑ミュージアム), 三宅 優佳 (兵庫県立人と自然の博物館),
北原 優, 穴井 千里 (九州大学)

O-34 14:35-14:50 「東北日本, 下北半島に分布する前期中新世堆積岩の古地磁気」

星 博幸 (愛知教育大学)

O-35 14:50-15:05 「海底熱水鉱床試料の低温磁気分析による金属硫化鉱物の研究」

大野 正夫, 加藤 千恵, 穴井 千里 (九州大学), 畠山 唯達 (岡山理科大学), 武田 侑也,
足立 達朗 (九州大学)

O-36 15:05-15:20 「水熱加熱レス試料の岩石磁気」

兵頭 政幸 (神戸大学), 瀬戸 雄介 (大阪公立大学), ブラダック・バラージュ (神戸大学)

15:20-15:30 討論

15:30-15:40

学生優秀発表賞表彰式・閉会挨拶

高知大学 海洋コア国際研究所 副研究所長 岩井 雅夫

(* 学生発表賞の審査対象者です)

(※ 共同利用・共同研究は、国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）の協力を得て実施されています。)